

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2011年6月30日号
-----	----------	-----	-------------

タイトル	「化粧品 OEM 特集」
------	--------------

## 注目素材

健康食品・化粧品のOEM製造などを行うニュートリション・アクト(本社東京都、石川雅仁CEO、☎03-5475-7313)が提案する植物由来素材「AC-11」は、DNA修復という新しい効能を持つっており、注目を集めている。化粧品だけでなく健康食品にも配合でき、豊富なエビデンスを取得していることから、内外美容商品シリーズのキー素材として採用する企業も増えているようだ。他の美容成分の働きを助ける効果も期待できる。

### ニュートリション・アクト

## 植物由来素材「AC-11」 DNA修復で内外美容実現

DNAは活性酸素や紫外線により1日最大50万回損傷を受けてお

れることで、美容分野では、シミ、シワ、たるみ、くすみ、炎症、光老化、きめなどの改

善につながる期待とや疾病の原因になると言われている。損傷したDNAを修復する機能は、加齢とともに衰えるが、そのDNAの修復機能をサポートする働きを持つのが「AC-11」だ。DNA修復が促進されることで、皮膚組織中の損傷DNAの修復効果が確認された。AC-11を添加することでサンバーン細胞(紫外線による細胞壊死)数を95%抑制できることも分かった。経口摂取を想定した試験では、紫外線や酸化ストレス、放射線によるDNA損傷の修復促進作用を確認している。

また、肌への影響を調べたところ、柔軟で弾力のあるⅢ型コラーゲンの量が10日間でスタート時より4・7倍に増加するといった結果が確認された。

体の土台ともいえる皮膚細胞を活性化させる働きを持つため、コラーゲンやセラミド、システインなどの他の美容成分との相性もよく、「体感率の向上にも寄与する」と同社ではみている。

### Ⅲ型コラーゲンの生成促進効果

